

会議録

会議の名称	第8回 部活動地域展開検討委員会
開催日時	令和 8年 3月 23日 (月) 15時～16時45分
開催場所	市役所5階 5-4会議室
出席者	江崎委員長、赤羽副委員長、碓井委員、堀池委員、谷本委員、高橋委員、太田委員、窪田委員、真崎委員、安部委員、木島委員、冠委員、郡司委員
事務局	教育部教育指導課 下斗米課長、松岡主幹
議題	1 体験会の成果と課題の説明 2 パブリックコメントについて 3 座間市部活動地域展開基本方針（素案）について
資料の名称	1 パブコメ意見まとめ資料 2 座間市部活動地域展開基本方針（素案）資料
会議の結果	
議題1	1 体験会の成果と課題 説明、質疑
議題2	2 パブリックコメント 説明、質疑
議題3	3 座間市部活動地域展開基本方針（素案）説明、質疑
議事の概要	
委員 (スポーツ課)	バレーボール体験会の成果と課題について説明。
事務局	パブリックコメントについて説明 (資料1参照)
委員	～協議における主な意見等～ ダンスはスポーツなのか。要望も多いが、部活を作る予定はあるのか。
事務局	子どもたちが求めている活動が把握できたので、地域クラブ化したときに作っていききたい。また、スポーツ課で行ったスポーツ団体へのアンケートにおいても「部活動地域展開に関心がある。」という回答が多かったのでつながっていききたい。
事務局	座間市部活動地域展開基本方針（素案）について説明 (P7の部分)

	～協議における主な意見等～
委員	体験会で指導者が4人とあるが妥当であるか。
事務局	今回はバレーコート2面での体験会であった。1面に1名体制で考えていた。 アンケートの回答を見ても問題はなかったと考えられる。
委員	体験会に参加した主催者側の意見はどうか。
委員	個々の指導が行き渡っていた。
事務局	バレーボール経験者が初心者に教えるような場面もあった。
委員	体験会の会場までの移動手段はどうであったか。
事務局	保護者の送迎又は自転車や徒歩であった。
委員	どのような方が指導者にいたのか。継続性はあるのか。
事務局	今回の体験会に協力いただいたバレーボールの団体では、小・中学校別に指導者がいる。 その方が指導した。団体へのアンケートでも関心があるとの回答であったので継続性もあると考えている。
委員	(P9の部分) 指導者派遣とはどういうことか。 国が決めた言葉なのか。
事務局	スポーツ団体に、専門的な指導者がいない場合には、指導者を他から派遣してもらう形もある。 このような形態を想定し、本市が考えた言葉である。
委員	地域クラブの認定制度をきちんと決めてほしい。
事務局	指導者を含め、団体としての認定制度を決めていく。 国から認定制度のモデルも示されているので本市でも固めていきたい。
委員	(P11の部分) 兼職兼業の言葉を記載している理由はなぜか。

学校の先生に指導をお願いする費用は、地域クラブの指導者と差があるのか。

事務局

費用は、教員でも変わらない。
教員は公務員のため兼職兼業届の提出が必要。また、時間の制約もあるので記載している。

委員長

座間市部活動地域展開基本方針（素案）は案通りでよいか。

委員

承認